

交通安全フェスティバルに参加して

埼玉地方協力本部は、五月二十九日（日）春日部自動車教習所主催の交通安全フェスティバルにおいて広報活動を実施した。同イベントでは、春日部警察署の指導による交通ルール遵守の啓発や消防署員による交通事故時における人命救助要領などが実施された。

自衛隊ブースにおいては、自動車教習所にちなんだ陸自が使用する教習用大型トラックを展示したところ、教習車ならではの助手席のハンドルの役割についての質問が多数寄せられた。また、広報官手作りの子供用戦車バギーは大好評で募集ブースの周りにはディスプレイ並みの順番待ちの列ができた。順番待ちの小さなお子さんのお母さんから熊本地震の後だったこともあり「身近に自衛官がいることに大変心強く感じる。」と声をかけていただいた。地域のイベントに参加し、引き続き自衛官を身近に感じてもらうことによる広報活動を続けていく。



大宮駐屯地創立五十九周年創立記念行事に参加して

埼玉地方協力本部は、六月五日（日）大宮駐屯地で行われた「駐屯地創立五十九周年創立記念行事」において広報活動を実施した。梅雨入りとなったこの日は、生憎の空模様だったが、駐屯地開放と同時に天候が回復し約二千三百人の来場者で駐屯地内は大変賑わった。同記念行事では、大宮駐屯地所在部隊による一糸乱れぬ観閲行進、中央特殊武器防護隊による臨場感あふれる訓練展示の他、装備品展示、音楽演奏、ミニ対潜哨戒機によるデモンストレーションが行われお年寄りから子供まで楽しんでた。

埼玉地本ブースでは、富士総合火力演習の映像を放映し、自衛官募集のチラシ配布した。迫力ある所在部隊による各種行事との相乗効果も大きく、広報官は期待を込めた熱い思いで説明に追われた。また、サイポングみは小さなお子さんから度々「怖い」と言われるので、今回はサイポンの視線をお子さんに合わせる作戦をとったことが功を奏し、怖いと言われることもなく笑顔でのタッチや記念写真を一緒に撮ってもらえたりで、サイポンは「ほっと」胸をなでおろしたのです。

